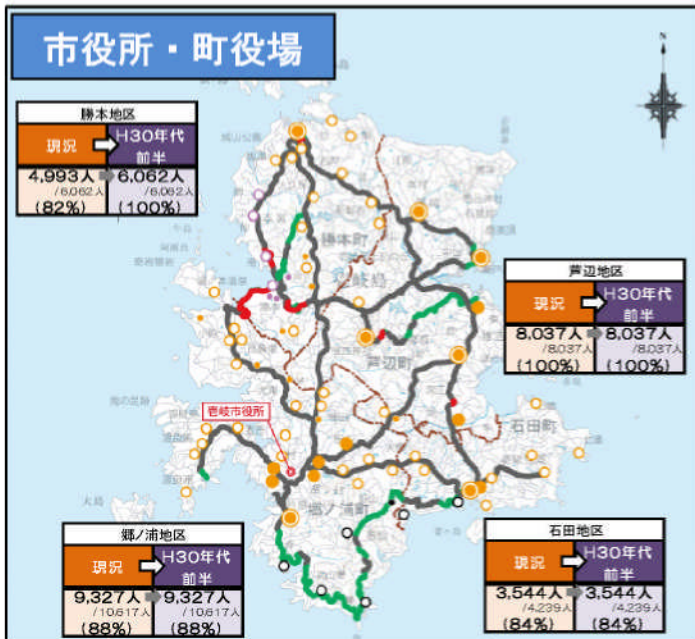


5. 成果指標から見た現状と課題

成果指標から見た現状と課題

島民の生活の質向上
(2車線カバー人口)

香崎市

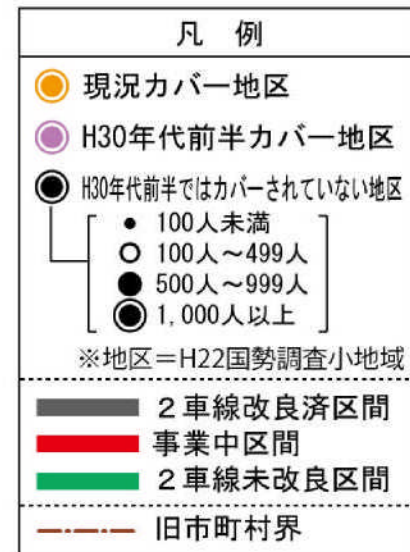
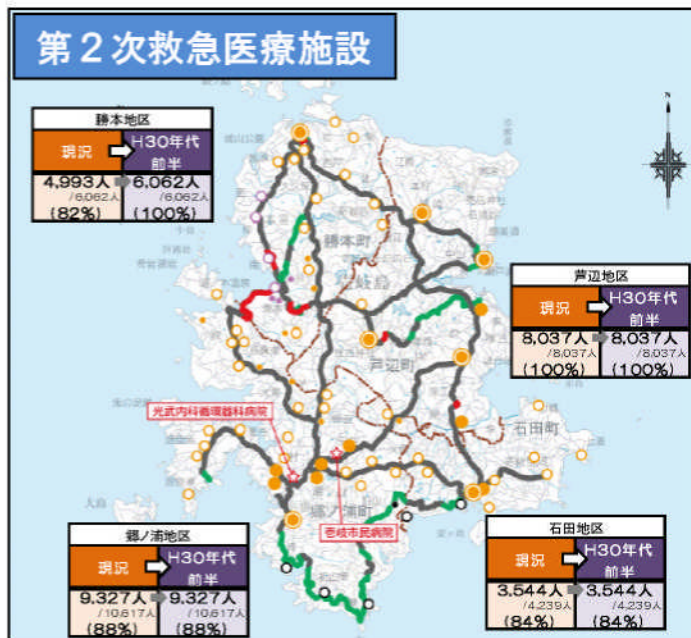
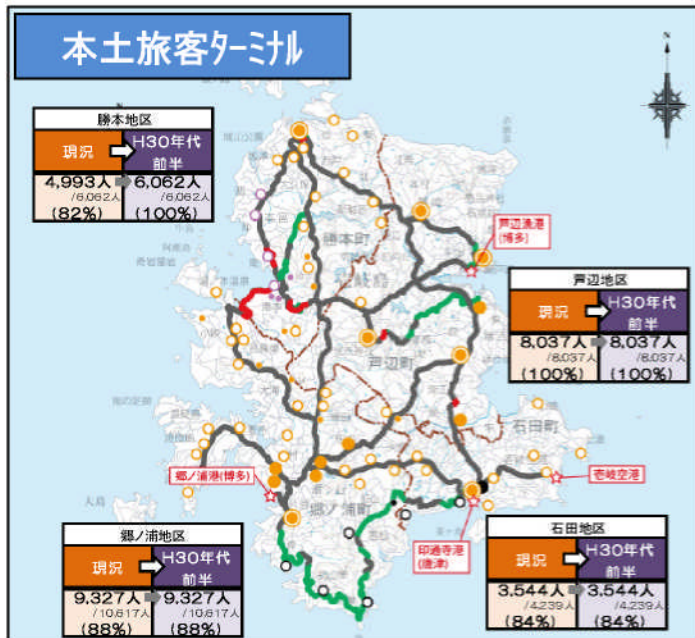


□整備指標1：2車線カバー人口

項目	現況	H30年代前半
1 市役所・町役場へのアクセス	25,901人 / 28,955人 (89%)	26,970人 / 28,955人 (93%)
2 本土旅客ターミナルへのアクセス	25,901人 / 28,955人 (89%)	26,970人 / 28,955人 (93%)
3 第2次救急医療施設へのアクセス	25,901人 / 28,955人 (89%)	26,970人 / 28,955人 (93%)

【現状】
国道382号や(主)勝本石田線などの主要路線の改良が進んでいるため、カバー率は現況で89%、H30年代前半で93%となっている。

【課題】
交通量等の現地の状況を総合的に考慮し、必要に応じて1車線改良等も含めた整備



成果指標から見た現状と課題

産業の活性化・防災機能強化
(2車線整備率)

吉崎市

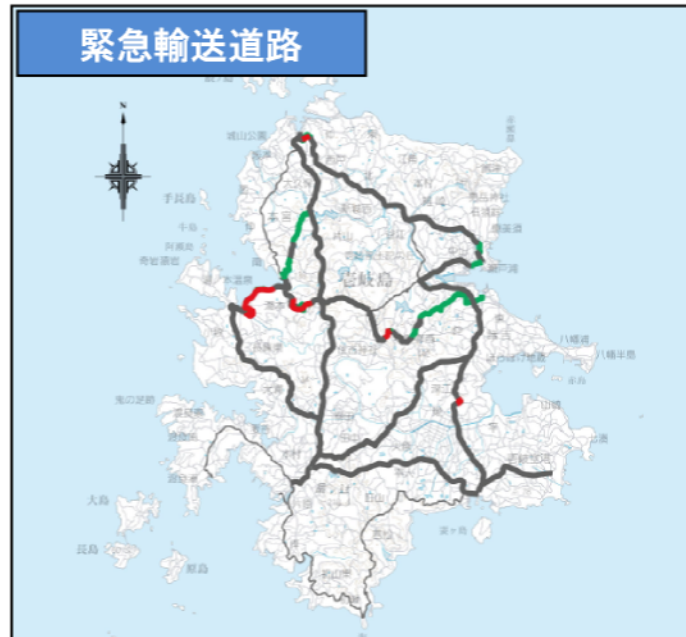


□整備指標2：2車線整備率

項目	現況	H30年代前半
1 農水産業輸送経路	44.9km /45.2km (99%)	45.2km /45.2km (100%)
2 観光ネットワーク	64.0km /68.1km (94%)	67.7km /68.1km (99%)
3 緊急輸送道路ネットワーク	62.0km /73.0km (85%)	65.7km /73.0km (90%)

【現状】
国道382号や(主)勝本石田線などの主要路線の改良が進んでいるため、各指標の整備率は90%を超えている。

【課題】
交通量等の現地の状況を総合的に考慮し、必要に応じて1車線改良等も含めた整備



凡例

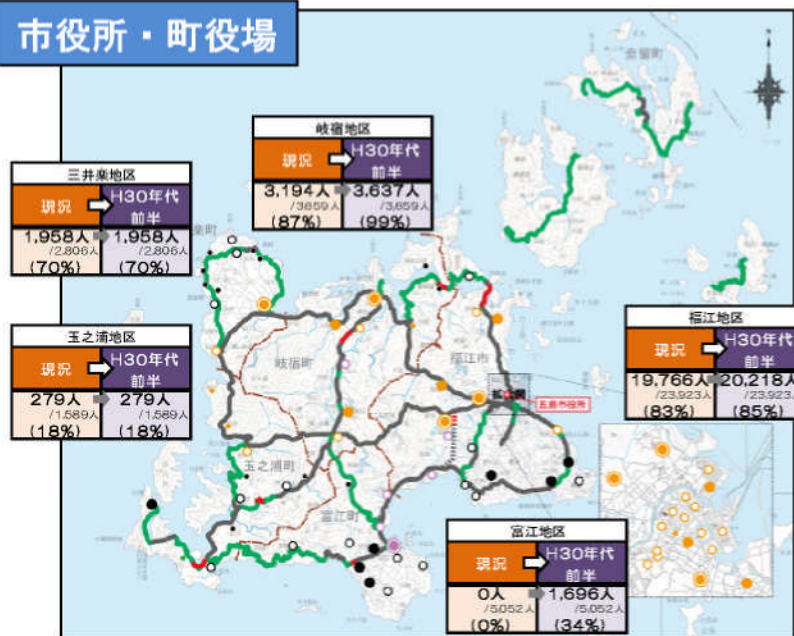
ネットワーク対象路線のうち

- 2車線改良済区間
- 事業中区間
- 2車線未改良区間
- ネットワークに該当しない路線

成果指標から見た現状と課題

島民の生活の質向上
(2車線カバー人口)

市役所・町役場



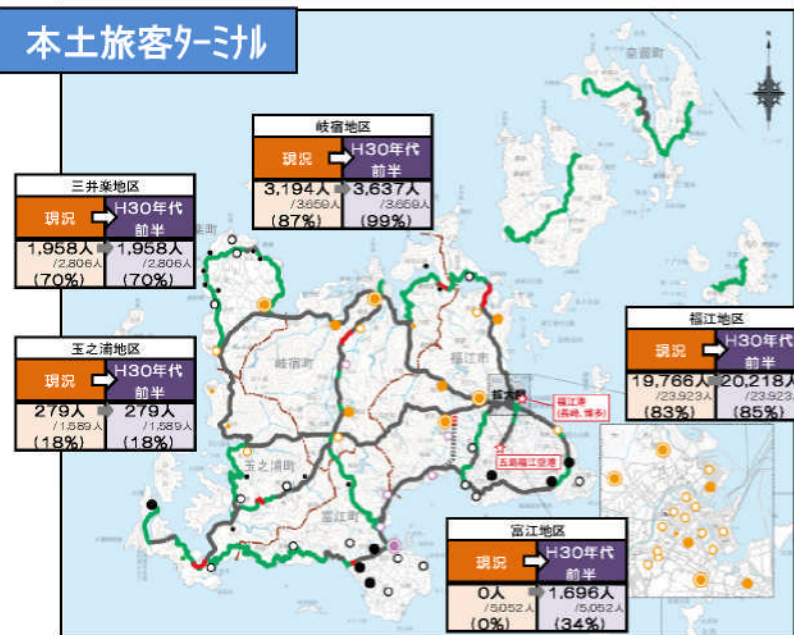
整備指標1：2車線カバー人口

項目	現況	H30年代前半
1 市役所・町役場へのアクセス	25,197人 / 37,029人 (68%)	27,788人 / 37,029人 (75%)
2 本土旅客ターミナルへのアクセス	25,197人 / 37,029人 (68%)	27,788人 / 37,029人 (75%)
3 第2次救急医療施設へのアクセス	29,577人 / 37,029人 (80%)	30,472人 / 37,029人 (82%)

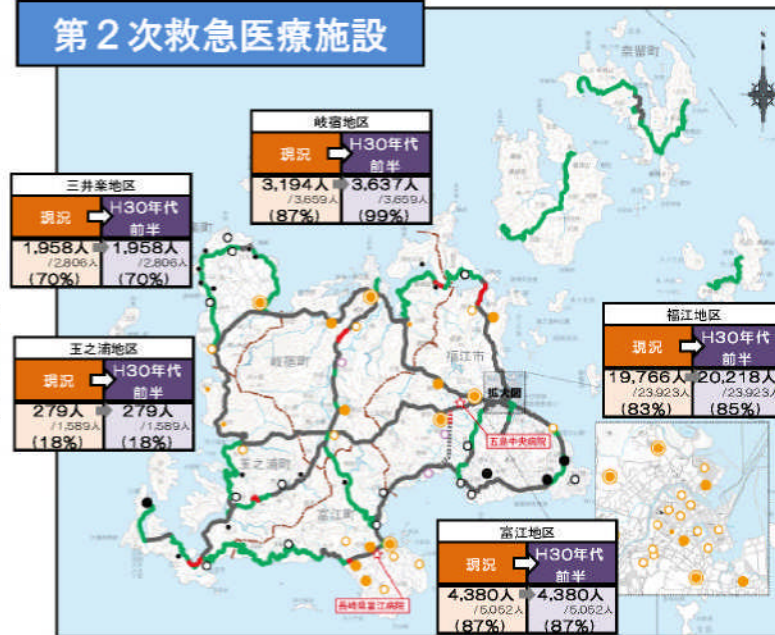
【現状】
全島のカバー率はH30年代前半で75～82%となっているが、玉之浦地区のカバー率が2割以下に留まっている。

【課題】
玉之浦地区へのアクセス改善

本土旅客ターミナル



第2次救急医療施設

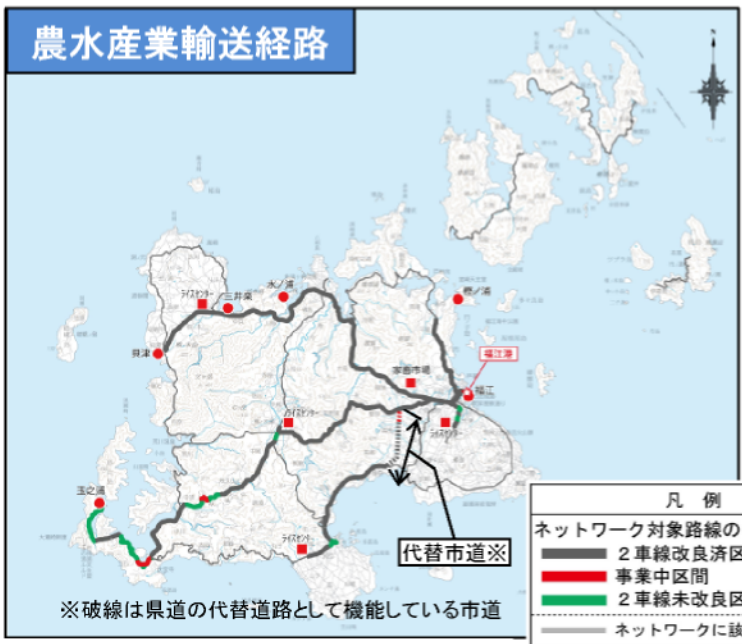


- 凡例
- 現況カバー地区
 - H30年代前半カバー地区
 - H30年代前半でカバーされていない地区
 - 100人未満
 - 100人～499人
 - 500人～999人
 - 1,000人以上
- ※地区＝H22国勢調査小地域
- 2車線改良済区間
 - 事業中区間
 - 2車線未改良区間
 - 旧市町村界
- ※破線は県道の代替道路として機能している市道

成果指標から見た現状と課題

産業の活性化・防災機能強化 (2車線整備率)

五島市

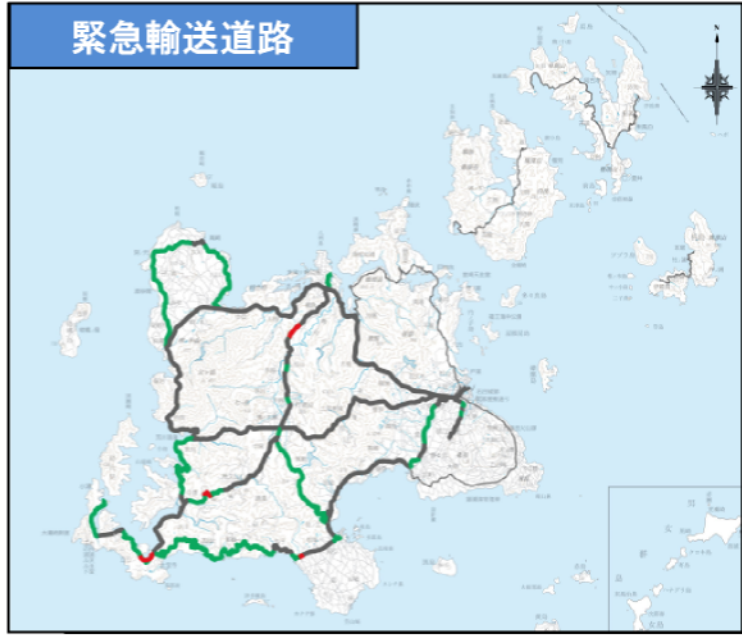


整備指標2：2車線整備率

項目	現況	H30年代前半
1 農水産業輸送経路	65.5km /76.8km (85%)	68.2km /76.8km (89%)
2 観光ネットワーク	93.7km /156.0km (60%)	99.0km /156.0km (63%)
3 緊急輸送道路ネットワーク	89.2km /148.4km (60%)	93.7km /148.4km (63%)

【現状】
 国道384号や主要地方道の未改良区間の影響で観光ネットワーク、緊急輸送道路の整備率が6割で留まっている。

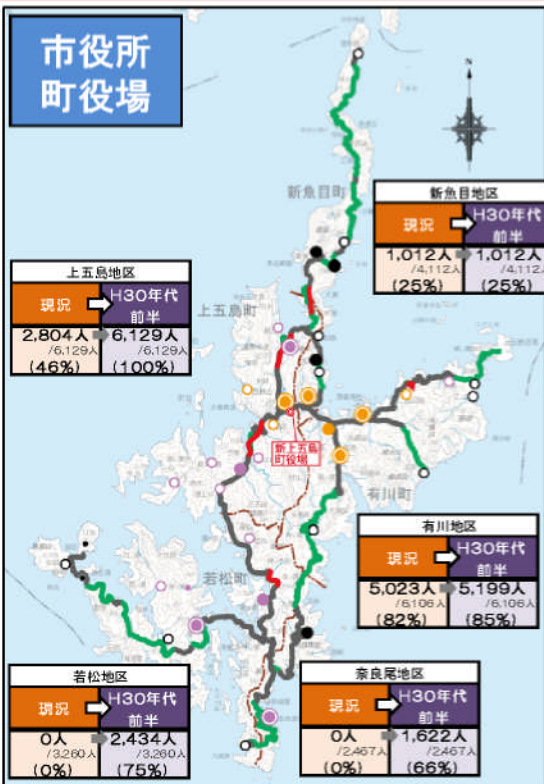
【課題】
 他の評価項目や、交通量等の現地の状況を総合的に考慮し、必要に応じて1車線改良等も含めた着実な整備



成果指標から見た現状と課題

島民の生活の質向上
(2車線カバー人口)

新上五島町

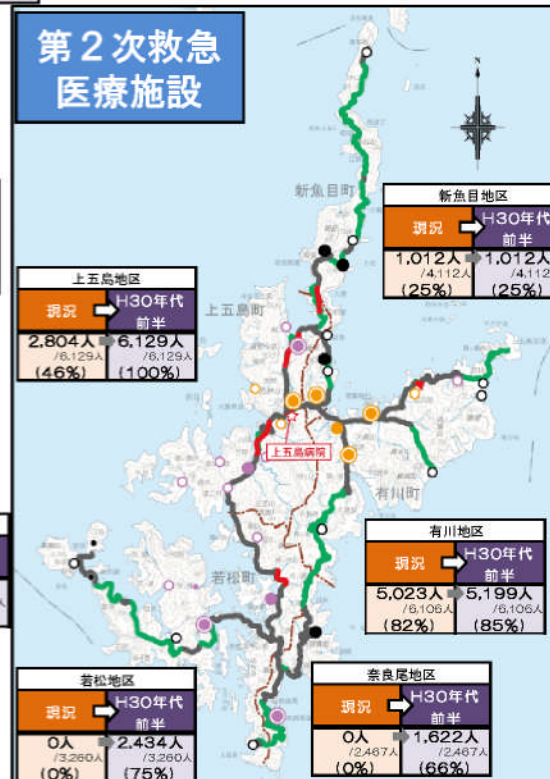
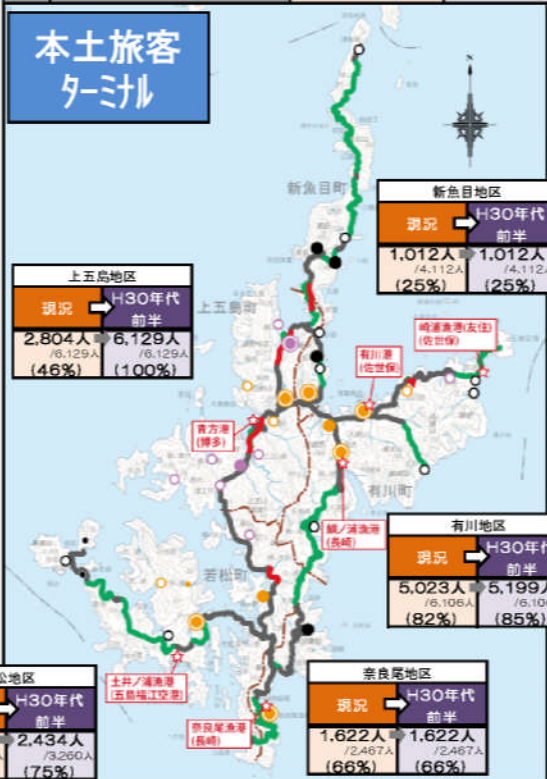
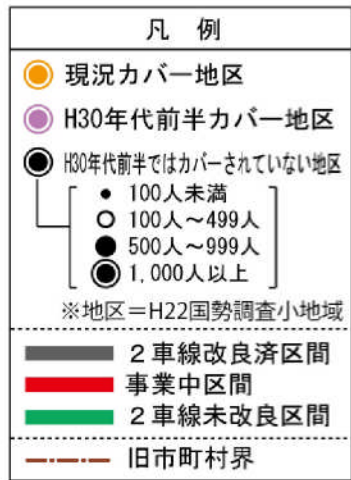


□整備指標1：2車線カバー人口

項目	現況	H30年代前半
1 市役所・町役場へのアクセス	8,839人 / 22,074人 (40%)	16,396人 / 22,074人 (74%)
2 本土旅客ターミナルへのアクセス	12,491人 / 22,074人 (57%)	16,396人 / 22,074人 (74%)
3 第2次救急医療施設へのアクセス	8,839人 / 22,074人 (40%)	16,396人 / 22,074人 (74%)

【現状】
全島のカバー率は国道384号の改良が進むため、H30年代前半で7割となっているが、人口の少ない端部が未改良で残っている。

【課題】
交通量等の現地の状況を総合的に考慮し、必要に応じて1車線改良等も含めた整備



成果指標から見た現状と課題

産業の活性化・防災機能強化
(2車線整備率)

新上五島町



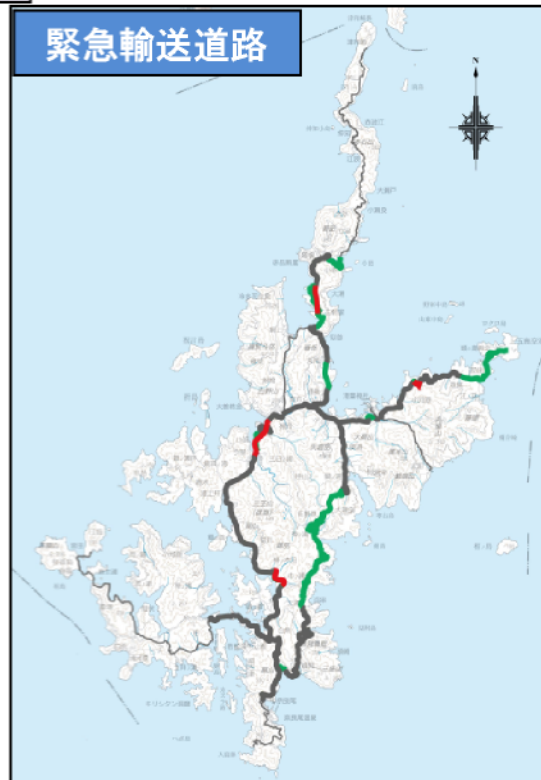
凡例	
ネットワーク対象路線のうち	
2車線改良済区間	(Black line)
事業中区間	(Red line)
2車線未改良区間	(Green line)
ネットワークに該当しない路線	(Grey line)

口整備指標2：2車線整備率

項目	現況	H30年代前半
1 農水産業輸送経路	39.8km / 65.1km (61%)	45.8km / 65.1km (70%)
2 観光ネットワーク	52.1km / 84.8km (61%)	59.8km / 84.8km (71%)
3 緊急輸送道路ネットワーク	51.4km / 78.1km (66%)	57.3km / 78.1km (73%)

【現状】
各ネットワークがH30年代前半で、70%程度の整備率となっており、それぞれ未改良区間が長い路線が違う。

【課題】
交通量等の現地の状況を総合的に考慮し、必要に応じて1車線改良等も含めた整備

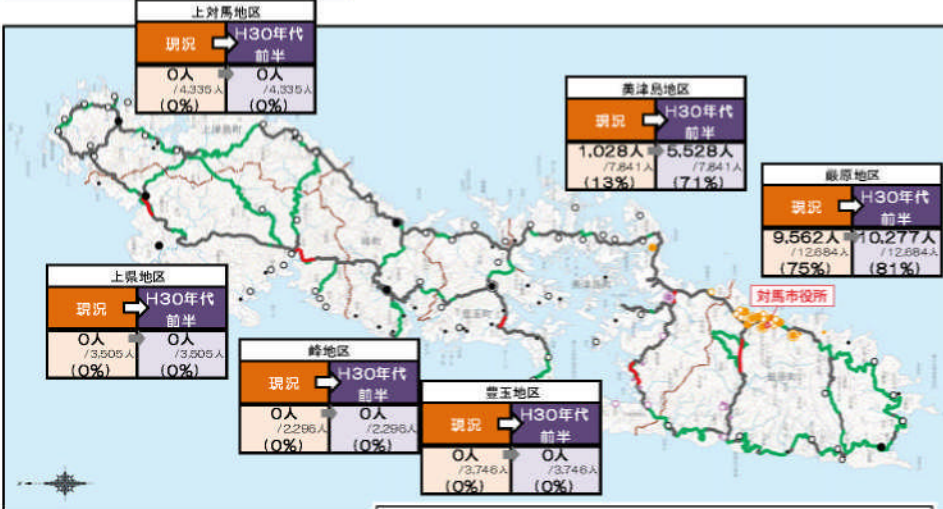


成果指標から見た現状と課題

島民の生活の質向上 (2車線カバー人口)

対馬市

市役所・町役場

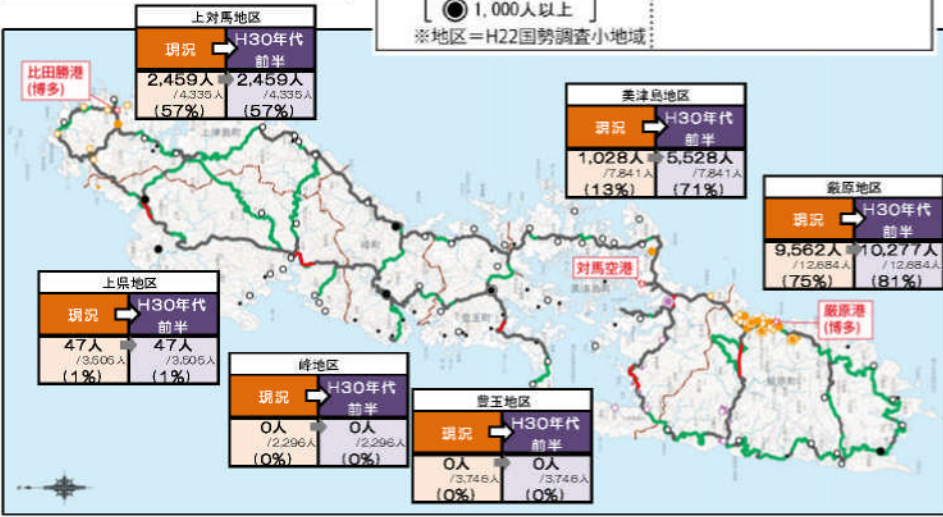


整備指標1：2車線カバー人口

項目	現況	H30年代前半
1 市役所・町役場へのアクセス	10,590人 / 34,407人 (31%)	15,805人 / 34,407人 (46%)
2 本土旅客ターミナルへのアクセス	13,096人 / 34,407人 (38%)	18,311人 / 34,407人 (53%)
3 第2次救急医療施設へのアクセス	13,096人 / 34,407人 (38%)	18,311人 / 34,407人 (53%)

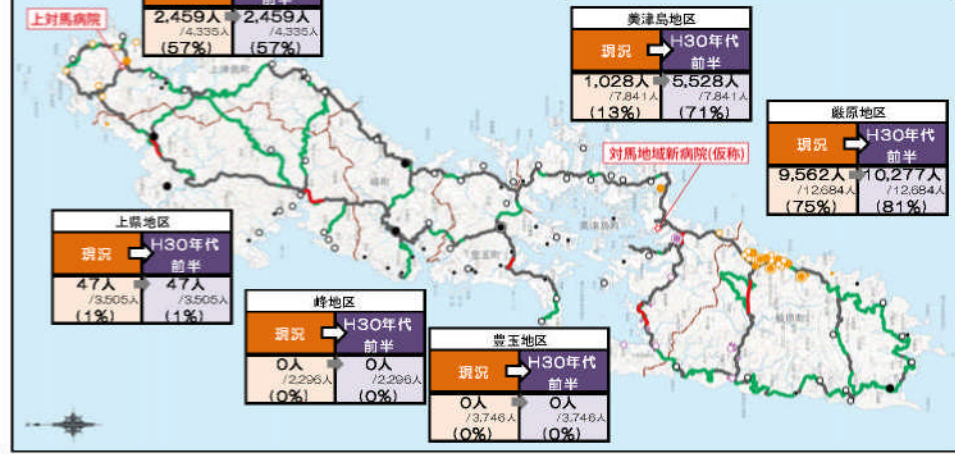
【現状】
島の南北を連絡する国道382号に未改良区間が点在しているため、30年代前半でも3指標とも5割前後となっている。また、峰、豊玉、上島地区では1%以下となっている。

本土旅客ターミナル



【課題】 上島におけるアクセス性が特に悪く、他島並みへの人口カバー率の底上げによる改善

第2次救急医療施設



凡例

- 現況カバー地区
- H30年代前半カバー地区
- H30年代前半ではカバーされていない地区
 - 100人未満
 - 100人～499人
 - 500人～999人
 - 1,000人以上

※地区=H22国勢調査小地域

- 2車線改良済区間
- 事業中区間
- 2車線未改良区間
- 旧市町村界

成果指標から見た現状と課題

産業の活性化・防災機能強化
(2車線整備率)

対馬市

整備指標2：2車線整備率

項目	現況	H30年代前半
1 農水産業輸送経路	133.8km /202.6km (66%)	154.0km /202.6km (76%)
2 観光ネットワーク	135.8km /188.4km (72%)	144.7km /188.4km (77%)
3 緊急輸送道路ネットワーク	154.3km /263.0km (59%)	173.4km /263.0km (66%)

【現状】
H30年代前半において、他の項目が8割程度であるのに対し、緊急輸送道路の整備率は66%に留まっている。

【課題】 他の評価項目や、交通量等の現地の状況を総合的に考慮し、必要に応じ1車線改良等も含めた着実な整備



凡例
ネットワーク対象路線のうち
 ■ 2車線改良済区間
 ■ 事業中区間
 ■ 2車線未改良区間
 - - - ネットワークに該当しない路線



6. 今後の検討課題

今後の検討課題

- ・道路整備の実施個所を選定する際に「無医地区」や「ドクターヘリ等のヘリポート」へのアクセス性を考慮して優先度を判断
- ・市、町と連携した世界遺産関連教会へのアクセス性の改善は県道だけでは対応できない為、市と連携し検討
- ・離島で指標に設定した課題とは別に、離島に関係する事項である基本方針の課題4「歩行者や通行車両の安全・安心な移動の確保」、課題6「既存ストックを荒廃させない適切な維持管理、維持補修費用の抑制・標準化」及び課題10「自然景観や街並み景観への配慮」については、計画・設計・施工時において配慮。
- ・道路走行の快適性を適切に評価できる定量的な指標の検討